

# 服部 進（はっとり・すすむ）

## 1、プロフィール

小説家。昭和 29 年、小説同人誌「北狄」創刊に参加。代表ならびに編集人を務めた。小説集5冊上梓。

<生没>

1923(大正 12)年1月3日～2009(平成 21)年2月3日

<代表作>

『小説・私の青森』『幻花』『白鳥の歌』『旅の理由』『青い花』(上梓単行本から)

<青森との関わり>

青森市生まれ。青森市立中学校卒業。青森市内中・高校教員。青森ペンクラブ会長を務めた。

## 2、作家解説

大正 12 年1月3日青森市生まれ。

青森市立中学校(現北斗高校)卒。法政大学文学部卒。青森市内中・高校の国語科教員を勤める。

昭和 29 年、小説同人誌「北狄」の創刊に参加。創刊号所載の「咲別川の鱒」が「近代文学」(昭 21 創刊、同人本多秋五、平野謙ら、戦後文学の一大拠点)10 周年記念同人誌コンクールに2席入選。同誌 31 年6月号に掲載。同誌 31 年9月号に「風」を掲載。

東奥日報社主催「東奥小説賞」には第1回(昭 32)に「白夜」佳作一席、第2回(昭 33)に「エスのこと」佳作、第3回に「しらみ」佳作2席とそれぞれ入選。

昭和 51 年から矢継ぎ早に作品集を刊行。第1作品集『小説・私の青森』(昭 51. 6)、第2作品集『幻花』(昭 52. 9)、第3作品集『白鳥の歌』(昭 54. 9)、第4作品集『旅の理由』(昭 56. 2)、第5作品集『青い花』(昭 58. 5)の刊行である。その間、純文芸誌「海燕」が創設した「地域の文学」欄(昭 55. 10)に「杖の道」を発表。第4

作品集『旅の理由』等により、昭和 56 年、第7回県教委芸術文化報奨を受賞。「北狄」代表、256号からは編集人も兼ね、雑誌の運営・発行に尽力、今日の盛況に導いた。「北狄」の同人誌活動については、昭和51年に県教委芸術文化報奨、平成13年、第22回青森県文芸協会賞、同年第1回富士正晴全国同人雑誌賞コンクールで特別賞を受賞。また、他同人誌ではあまりみられない同人作品集の刊行をしている。第1集(昭52.7)第2集(昭53.9)第3集(平13.6)の3冊である。服部進の強烈な指導・牽引力の賜物である。「北狄」は256号(平元.10)から隔月刊、295号(平8.9)から季刊となり、平成13年12月には321号を発行。旺盛な創作力で平成21年に82歳で亡くなるまで毎号作品を発表しつづけた。

### 3、資料紹介

○『小説・私の青森』

図書

1976(昭和51)年6月15日

195mm×133mm

第1小説集、短編「呪」「三上町」「私の地図」「あまねき光」「花の宴」5編を所収。「北狄」100号から190号に発表した作品群から選ばれている。青森を背景または主題とした作品である。「私の血、私の肉、私の骨である『小説・私の青森』に光あれ」と著者は「あとがき」で述べている。